

2024年1月19日

関鉄グリーンバス株式会社

## 路線バス（乗合バス）の上限運賃改定の認可申請について

関鉄グリーンバス株式会社（本社：茨城県石岡市、社長：宮野 裕司）では、本日（2024年1月19日）、国土交通省関東運輸局に一般乗合旅客自動車運送事業の上限運賃<sup>\*</sup>変更の認可申請を行いました。

ご利用のお客様には何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

申請理由および申請概要等は次のとおりです。

※上限運賃とは、事業の経営に必要な原価に応じて算出されるバス事業者が収受しても良いとされる運賃の上限額です。それに対し、認可が得られた上限運賃の範囲内で実施する、実際にお客様から収受する運賃を実施運賃と言います。

## 1. 申請理由

弊社グループでは、1997年6月実施の運賃改定以来、消費税率の引き上げによるものを除き約26年間、運賃を変更することなく、輸送の安全を最優先しつつ、お客様利便の充実に努めるとともに、様々な経営効率化に取り組みながら輸送サービスを提供してまいりました。この間、少子高齢化やマイカーとの競合などにより、輸送人員が減少した際も当社の分社化など種々の経営改善策を講じ、バス事業を維持・継続してまいりました。

しかしながら、近年では、コロナ禍以降の生活様式の変化によりさらに移動需要が低迷しているほか、今後においてもバス運転士不足を補うための人件費や燃料費などの輸送コストが上昇し続けることが見込まれ、厳しい事業環境が続くことが想定されます。このため、今後も安全・安心・快適な輸送サービスを提供し、公共交通機関としての使命を果たしていくためには、路線バスの運賃改定が必要と判断し、今般の認可申請を行ったものです。

## 2. 申請内容

- (1) 申請日 2024年1月19日（金）  
(2) 実施予定日 2024年3月中（認可後決定）  
(3) 対象路線 一般路線バス全線  
(4) 上限運賃の平均改定率 21.83%

なお、多くの区間で上限運賃より低額となるよう、平均改定率11%程度となる実施運賃を予定しております。

### (5) 現行・申請運賃比較表

		現行運賃		申請上限額 <sup>*</sup>		実施運賃 <sup>*</sup> （予定）	
		現金	ICカード	現金	ICカード	現金	ICカード
初乗り運賃		170円	168円	210円	210円	190円	190円
定期券 (1か月)	通勤	7,140円		8,820円		7,980円	
	通学	6,120円		7,560円		6,840円	

## (6) 主要区間の運賃

単位:円

区 間	片道運賃			通勤定期1ヶ月		通学定期1ヶ月	
	現行		改定後(予定)	現行	改定後(予定)	現行	改定後(予定)
	現金	IC	現金・IC				
石岡駅～茨城空港	630	629	660	26,460	27,720	22,680	23,760
石岡駅～小川駅	380	377	410	15,960	17,220	13,680	14,760
石岡駅～柿岡車庫	620	618	650	26,040	27,300	22,320	23,400
土浦駅～石岡駅	730	724	760	30,660	31,920	26,280	27,360
水戸駅～茨城空港	1,160	1,153	1,190	48,720	49,980	41,760	42,840

※関東鉄道(株)と共同運行区間は同運賃額となります。

### 3. 輸送人員および収支状況

		輸送人員	経常損益
実績年度 (2022 年度)		926 千人	△18,137 千円
平年度推定 (2024 年度)	運賃改定前	835 千人	△86,501 千円
	運賃改定後*	809 千人	△43,731 千円

※2024 年度運賃改定後の輸送人員、収支状況は申請上限運賃での推計値です。

### 4. これまでの経営改善と今後の取り組み

弊社では、これまでも運行ダイヤの見直しや不採算路線の再編により事業運営の適正化を図るとともに、管理コスト削減や車両代替期間延長による設備投資の抑制、エコドライブによる燃料費削減等を通じて経営改善に努めてまいりました。

今後もこれまでの施策を継続するほか、業務のDX（デジタルトランスフォーメーション）化による生産性の向上などを推進し、更なる経営改善に努めてまいります。

### 5. 安全対策への取り組み

弊社では、バス事業の最大の使命である「輸送の安全」のための施策を積極的に推進しており、今後も継続してまいります。

従来から取り組んでおりますバス運転士向け安全教育やバスジャック対策訓練、災害時想定訓練などソフト面での対策を充実させます。ハード面においてもドライバー異常時対応システム（EDSS\*）搭載バスの導入など最新技術も積極的に取り入れるなど、引き続き、安全に対する投資を進めてまいります。

健康管理については、年2回の定期健康診断に加え保健婦による個別指導、睡眠時無呼吸症候群（SAS）検査・脳MRI検査を定期的を実施し健康管理に努めております。

※EDSSとは、走行中に異常が発生した際、運転席もしくは車内の非常ブレーキスイッチを押すことで制動を開始し、速度を段階的に低下させて停止させる装置です。

### 6. サービス向上への取り組み

弊社では、高齢者向け定期券「関鉄ふれ愛パス」や通学学期定期券など割引率の高い乗車券の発売、交通系ICカードの導入やIC金額式定期券、土日祝日限定IC一日乗車券の発売など、サービスの向上に努めてまいりました。

今後もノンステップバスの更なる導入やバスロケーションシステムの導入、MaaS への取り組みなど、サービス向上のための施策を積極的に行ってまいります。

以 上